

平成29年12月

各位

一般財団法人日本水土総合研究所  
理事長 齋藤 晴美  
(公印省略)

## ご案内

謹啓

時下ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃より当研究所の調査研究に当たりましては、格別のご高配を賜り衷心より感謝申し上げます。

さて、当研究所では、毎年、全研究員が自ら担当する調査研究課題に関する成果の概要を発表することにより、職員の技術力向上と職員を派遣して頂いている組織の関係者に当研究所についての理解を深めていただくことを目的とした調査研究発表会を開催しております。今年度も、下記のとおり開催することと致しました。

また、発表会に引き続き、交流会を開催することとしております。あわせてご多忙の折、大変恐縮ではございますがご出席賜りますようお願い申し上げます。

謹白

### 記

1. 日時：平成30年1月26日（金）
  - (1) 調査研究発表会 13:30 ～ 17:30 (東海大学校友会館 朝日の間)  
(受付開始 13:00)
  - (2) 交流会 17:40 ～ 19:30 ( " 阿蘇の間)
2. 場所：東海大学校友会館 (別紙案内図参照)  
住所：東京都千代田区霞が関3-2-5 霞ヶ関ビル35階  
電話：03-3581-0121
3. 調査研究発表会次第
  - (1) 主催者挨拶
  - (2) 業務概要紹介
  - (3) 調査研究発表
    - ①農村振興企画グループ ②水土資源保全グループ ③性能設計技術グループ
    - ④高度施設技術グループ ⑤国際水土グループ
  - (4) 主席研究員発表

※発表テーマ一覧(案)は裏面を参照してください。  
※本発表会は農業土木技術者継続教育認定プログラム(CPD)に認定されています。  
(CPD取得目安：3単位)
4. 交流会費：お一人様当り 4,000円
5. 出欠の確認：出欠のご連絡は、メールもしくは別紙 FAX 送信票で **12月26日まで**にお願いいたします。メールでは、発表会・交流会の出欠、お名前や連絡先等を記入して、[tyousa@jiid.or.jp](mailto:tyousa@jiid.or.jp) に送付してください(様式自由)。

法人 個人
6. 問い合わせ先  
一般財団法人日本水土総合研究所  
調査研究発表会実行委員会 傍島もしくは玉置(性能設計技術グループ)  
電話：03-3502-1586、FAX：03-3502-1329

以上

発表テーマ一覧（案）

| 区 分                           | 発表テーマ（仮題）                        | 氏 名      |
|-------------------------------|----------------------------------|----------|
| 調査研究<br>概要紹介<br>(10分)         | 日本水土総合研究所における調査研究の取組状況           | 角田 総括技術監 |
| 調査研究<br>発表<br>(各6分)           | ① 農村振興企画グループ                     | 大須賀寿樹    |
|                               | 津波による湛水被害防止効果の算定手法に関する検討         |          |
|                               | 集落営農等と多面的機能支払交付金の取組に関する傾向分析      | 小鹿 勇 児   |
|                               | 埋蔵文化財の調査に係る新たな効果算定手法の検討          | 吉岡 真 澄   |
|                               | 中山間地域等直接支払制度の施策効果検証に係る調査分析       | 下元 隆 志   |
|                               | 地域防災活動の実施を通じた農村協働力の活性化に関する調査分析   | 古高 太 規   |
|                               | 農業水利施設の保全管理に係る調査分析               | 田口 明 伸   |
|                               | ② 水土資源保全グループ                     | 中島敬太郎    |
|                               | リノベーション技術の導入による効果                |          |
|                               | 高収益農業の実現に資する農業水利の調査分析            | 嶺岸 憲 一   |
|                               | 農業農村整備事業等における UAV の活用方法          | 日下 靖 之   |
|                               | 国営事業実施地区における農家の営農状況と将来意向に関する調査分析 | 勝元 修 平   |
|                               | ③ 性能設計技術グループ                     | 傍島 裕 人   |
|                               | ポンプ場の設計に関する技術的課題に関する調査           |          |
|                               | 九州北部豪雨によるため池被害に関する研究             | 井上 吉 弘   |
|                               | 土地改良施設の事業継続計画（BCP）作成に関する調査       | 石田 明 雄   |
|                               | 実施中の国営事業における技術的課題に関する調査          | 玉置 亨 介   |
|                               | ④ 高度施設技術グループ                     | 百濟 昌 人   |
|                               | 農業用ダムの耐震性能照査実施上の課題と今後            |          |
|                               | 地下ダム計画におけるダム軸の検討                 | 桑原 昭 浩   |
|                               | アーチダムの3次元モデルを用いた耐震性能照査手法         | 藍 口 真    |
|                               | 地下ダム空洞対策の検討事例                    | 尾島 豊 彦   |
|                               | 東日本大震災で被災したダム堤体の復旧盛立後における監視評価    | 宮 田 透    |
|                               | ⑤ 国際水土グループ                       | 花田 潤 也   |
|                               | ライフサイクルコストを考慮した水路の検討手法           |          |
|                               | ケニアのフード・バリューチェーン構築支援に係る調査分析      | 渡 辺 守    |
|                               | ミャンマーのフード・バリューチェーン構築支援に係る調査分析    | 中根 隆 裕   |
| アジアモンスーン地域における水田の多面的機能評価に係る研究 | 武野 裕 太                           |          |
| 主席研究<br>員発表<br>(各6分)          | 基盤整備と農薬や肥料の使用量に関する分析             | 山 下 正    |
|                               | アジア諸国におけるほ場整備促進のための基礎的調査         | 橋 本 晃    |
|                               | 農業法人の営農の展開方向と農業基盤整備に対する要望調査      | 松 井 俊 英  |
|                               | 南牧村における農業・農村振興に関するアンケート調査及びその分析  | 管 谷 晋    |